



トラストだより



岐阜県奥飛騨トラスト地 82ha (2016.10.16 撮影)

公益財団3年目を迎えて

理事長 室谷 悠子

2017年は、当財団が公益財団となって3年目にあたります。みなさまのご支援に心から感謝申し上げます。2016年10月、当財団のスタッフたちと岐阜県にある奥飛騨トラスト地を訪れ調査しました。北アルプス（飛騨山脈）南側の焼岳（活火山）のふもとにあるトラスト地はブナやミズナラなどに加え、ダケカンバやモミ、シラビソなど亜高山帯の植生も見られる豊かな天然林です。

2000mを超える山々を背にトラスト地を歩くと雄大な自然に吸い込まれるような気持ちになり、人は自然の中では小さな小さな存在でしかないことに気づかされます。自然を敬い生きてきた私たち日本人の祖先には、人は自然の一部でしかないという感覚がありました。だからこそ豊かな自然が残ってきたのです。現代の生活は、あまりにも自然とかけ離れており、自然との一体性を感じる人が増えていることに強い危機感を感じます。

当財団では、トラスト候補地を探したり、トラスト地内に人工林が混在する場合は、森復元活動をしています。その他に、トラスト地ツアーや広報活動も行っています。豊かな森のすばらしさを伝え、感じてもらうことにより、分断されてしまった人と自然を再びつないでいくことも自然保護団体としての重要な役割と考えています。

クレジットカードで会費・ご寄附のお振込みができるようになりました！



〔ホームページから
お願いします。〕

会費：<http://okuyamatrust.org/donation/nyukai>
ご寄附：<http://okuyamatrust.org/donation/kifu>

三井住友信託銀行にてパネル展を開催！



2016年11月14日～12月22日までの6週間、三井住友信託銀行阪急梅田支店（大阪市北区阪急グランドビル2階）にて当財団のパネル展を開催させていただきました。

三井住友信託銀行様は、社会貢献活動である「環境・生きもの応援活動」を通じて、自然保護活動の支援に取り組み、特にナショナル・トラストの支援に力をいれておられます。阪急梅田支店では、店舗の一角でお客様に自然を守る取組などについて広く知っていただく場を設けています。今回、全国規模でナショナル・トラストに取り組む団体ということで当財団に出展のお声かけをいただきました。私たちの活動を伝える機会をいただけたことにとても感謝しています。

出展にあわせて、全国1944haの奥山水源林を保全している当財団の理念と活動のスケールが伝わるようなパネルを作成しましたので、今後、他地域でのパネル展も積極的に行っていきたいと思っております。素敵な広報スペースをご存知の方は是非ご紹介ください。

パネル展示の案内(写真上) パネル展示会場(写真下)

2016年トラスト地の生きものたち ～トラスト地に設置した動物カメラより～



クリを食べるツキノワグマ(9月21日撮影)



雪の上を歩くウサギ(2月11日夜間撮影)

近年、自然破壊から免れて、わずかに残った奥山の荒廃が深刻になっています。当財団のトラスト地でもナラ枯れによる巨木の枯死や下層植生の消失が起こっています。地球温暖化、酸性雨、過度の開発など原因は一つではありませんが、いずれにせよ人間活動に起因しています。

今や奥山が野生動物にとって安住の地ではなくなっている上に、今年は、全国的に山の実りが悪く、森の動物たちにとっては苦しい年でした。

当財団では、奥山から生きものの気配が消えつつあることに危機感を強めています。そのためトラスト地に自動撮影カメラを設置して、野生動物の生息状況の調査も行っています。写真は、撮影されたものの一部です。

厳しい自然環境の中、必死で生きている野生動物たちの聖域としても、トラスト地を守り続けていきます。



ブナ林をかけていくテン(5月19日撮影)

<寄附口座のご案内>

土地取得・トラスト地管理資金
等にご協力ください

・ ゆうちよ銀行振替口座 00920-4-305993
(口座名) 公益財団法人奥山保全トラスト